

健康一口豆だより

2014・6月号（医）創建会企画部

賢い患者になるために～薬の服用法・医師との接し方

子どものころから“いのち”や“からだ”を大切にし、

受診するときは患者が主役という意識を身につけてほしい。

そんな想いで『いのちとからだの10か条』をまとめました。

「健☆康☆教☆育」 NPO 法人コルム作成

いのちとからだの10か条^{じょう}

- ①いのちとからだはあなたのもの
- ②^{しょくじ}食事・^{すいみん}すいみん・^{てあら}手洗い—^{よぼう}予防が^{だいじ}大事
- ③^{へんか}からだの^き変化に^き気づこうね
- ④^{いしゃ}お医者さんには^{じぶん}自分で^{しょうじょう}症状を^{つた}伝えよう
- ⑤^きわからないことは^きわかるまで^き聞いてみよう
- ⑥^{じぶん}自分が^{つた}どうしたいかを^{つた}伝えよう
- ⑦^{ちりょう}治療を^う受けるときは^{しゅじんこう}あなたが^{しゅじんこう}主人公
- ⑧^{くすり}お薬は^{やくそくまも}約束守って^{つか}使おうね
- ⑨^{ちが}みんな^{ちが}違いがあつて^ああたり^{まえ}前
- ⑩^{たいせつ}だれのいのちも^{たいせつ}とっても大切